



新聞雜誌部税金慶達議
 副申書
 閣下前者、水趣ナリ不肖者
 草莽布衣、身ヲ以テ敢テ閣下ニ
 ルニ踞、謝セサル所以、モノ亦殆
 下之者、為ニ
 某不肖自テ拙ヲ不巖、平日
 惟、啓蒙、開、出、業、係、下、新、試、

(Faint background text and a red seal are visible on the right side of the document.)





内閣總理大臣大隈重信閣下閣下一國ノ元
老シテ威望久シク朝野ニ遍シ今ヤ風雲
際會臺閣統轄ノ任ニアリ上至尊ヲ輔弼
シ下蒼生ヲ風化スル一ニ係リテ閣下ニアリ
抑モ上下意思ノ疏通ヲ圖リ相互言論ノ洞
開ヲ期スルハ閣下若昔ノ本趣ナリ不肖某
草莽布衣ノ身ヲ以テ敢テ閣下ニ一言ヲ薦ム
ルニ踟躕セサル所以ノモノ亦殆ント之ガ為メナリ
某不肖自ラ揣ラス巖手日報社長ノ任ニアリ
惟フニ啓蒙闡幽ノ事係リテ斯職ニアル尠カ

ラサルヲ信ス故ニ某ヤ一片緯ヲ恤ヘサルノ誠ヲ
以テ聊カ邦家報効ノ一端ヲ圖ラントス常ニ念
フ人文ノ發達ヲ期セント欲セハ斯業ノ普及
シ圖ラサルヘカラス斯業ノ普及シ圖ラント欲セ
ハ交通機關ノ便ヲ藉ラサルヘカラス而シテ現今
ノ國狀タル最モ新聞雜誌ニ對スル郵税全廢
ノ急且ツ要ナルヲ視ル閣下ノ率弁ル現内閣ノ
民言ヲ容レ民意ニ酌ムモノ亦從來ノ積々普
々タルモノト迥ニ其選ヲ殊ニス是レ某ガ別ニ
一議ヲ草シテ之ヲ呈スル所以ナリ閣下幸ニ一顧

ノ榮ヲ垂レヨ尊嚴ヲ冒瀆シテ惶懼已ム
無シ某敬白

明治三十一年八月二十三日

巖手日報社長 上村才



内閣総理大臣伯爵大隈重信閣下

... (faded vertical text) ...

昭和三十一年八月二十三日



... (faded vertical text) ...

